

Qdefence®

Ver.2 (Improved)

Manual

Qdefence (キューディフェンス) は株式会社フォルムスの登録商標です。
実用新案登録済 PAT. R

取り扱い説明書

この取り扱い説明書は、QD02-S-S・QD02-S-M・QD02-S-L に共通です。

この取り扱い説明書は”保証書付”になっています。(P4)

この度は家具転倒防止ユニット「キューディフェンス」をご購入いただきありがとうございます。

- 正しくお使いいただくために、**組み立て前に必ず**この取り扱い説明書を最後までよくお読みください。
- ・保証書は「ご購入日」、「販売店名」の記入「販売店印」の押印などを確かめ、販売店から必ずお受け取りください。

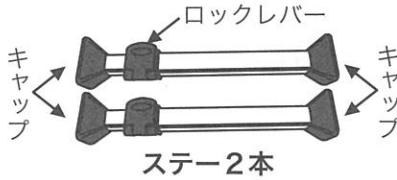
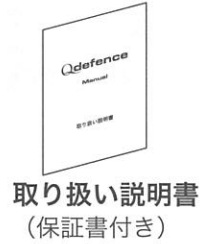
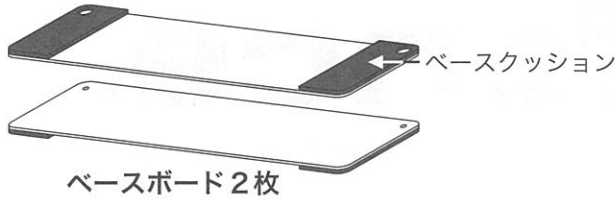
■ 保証規定

- ・保証期間はご購入日より1年間です。
 - ・保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - ・保証書は再発行致しませんので、大切に保存してください。
 - ・使用上の注意事項、使用方法などについて十分ご理解されてから、適切にご使用ください。
 - ・注意事項を守られなかった場合の事故や損害は保証いたしませんので、ご了承の上でご使用ください。
 - ・保証内容は将来予告無しに変更する事があります。
 - ・出荷時には品質検査をしていますが、組み立て前に欠品または破損があった場合は、速やかに販売店にご連絡ください。
 - ・取り扱い説明書にそった正常なご使用状態で破損した場合は、破損した製品の全部または全部を無償交換いたします。
 - ・無償交換した部品により製品本来の機能が維持できる事を保証するものではありません。
 - ・保証はこの製品にのみ適用され、使用者に生じた損失および間接的な損害については保証いたしません。
 - ・この製品は屋内使用限定ですので、屋外で使用された場合は保証いたしません。
 - ・この製品をご使用中に発生した不具合に起因する損害は保証いたしません。
- 保証期間中であっても、次の場合は無償交換の対象外になります。
- ・保証書をご提示されない場合。
 - ・保証書に販売店名、販売店印が無い場合。
 - ・保証書の所定事項の未記入あるいは虚偽の記入をされた場合。
 - ・使用者側による輸送、移動時の落下など、お取り扱いが適当でないために生じた故障、破損の場合。
 - ・火災、天災など自然災害による故障、破損の場合。
 - ・家具転倒防止の目的以外でのご使用による故障、破損の場合。
 - ・使用者側による改造や修理による故障、破損の場合。
 - ・経年変化または長期使用に伴う変色、傷、自然消耗の不具合。

キューディフェンス取り扱い説明書

(設置後も大切に保管してください)

パッケージには下記の部品が入っていますので、組み立て前にご確認ください。

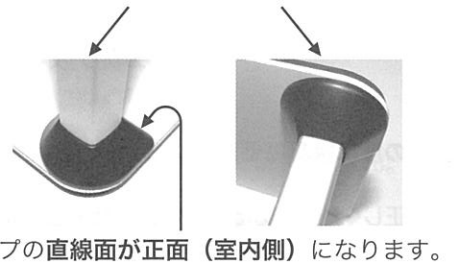
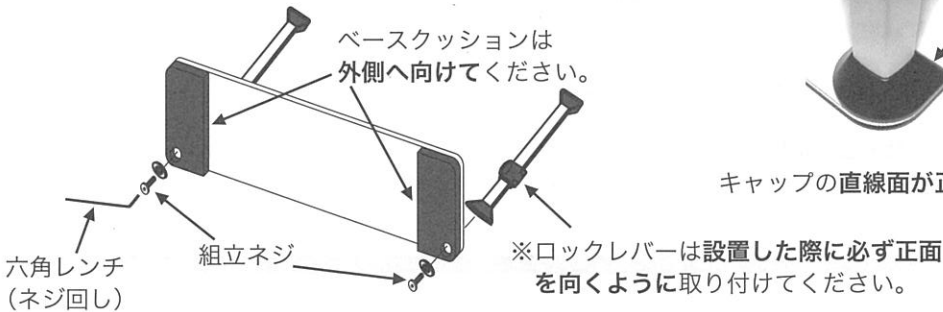


■ 組み立て方法

ステップ1

なるべく平らな場所で組み立て作業をしてください。
どちらか片方のベースボードにステーを2本とも**仮留め**をします。
※右図のようにステーの取付け方向にご確認ください。

ステー上下のキャップは、写真の様に必ず
ベースボード角のカーブに沿わせてください。

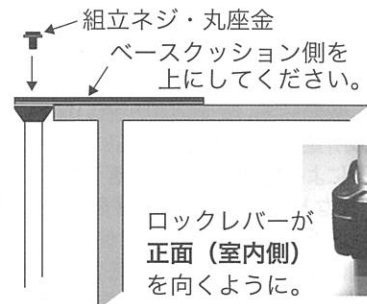
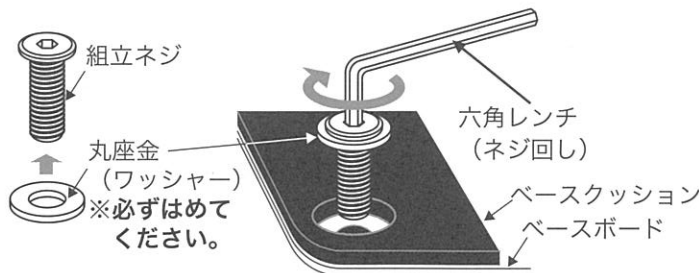


組立ネジは最初のうちは指でゆっくり真っ直ぐに締めてください。
無理に力を加えたり斜めに締め付けるとネジ受け側のネジ山を破損する恐れがありますのでご注意ください。
指での締め付けが固くなり始めたら、同梱の六角レンチ(ネジ回し)を使って仮留めをしてください。

⚠ 重要! ※ベースボードにステーを取り付ける時は、上下のキャップをベースボード角のカーブに沿わせ、キャップの直線面とロックレバーが**正面(室内側)**を向くように取り付けてください。

組み立てのポイント ベースボードを右下図のように、テーブルや机などに乗せると組み立てやすくなります。

⚠ 重要! ※組立ネジは必ず付属の丸座金(ワッシャー)をはめてからご使用ください。

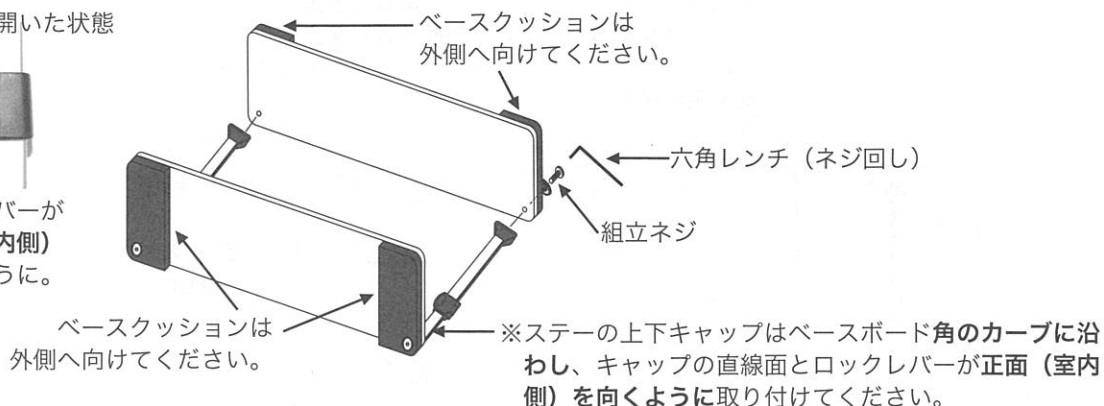


ステップ2

もう片方のベースボードをステップ-1と同じように仮留めします。

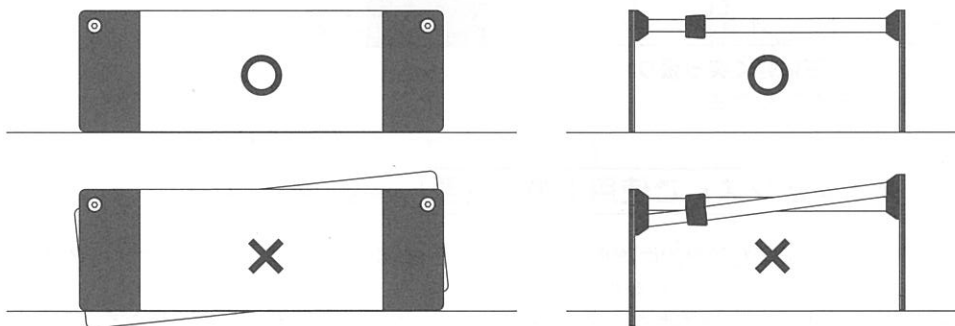
レバーを開いた状態

ロックレバーが正面（室内側）を向くように。



ステップ3

両方のベースボードにステーの仮留めが完了したら、平らな場所で少しネジを緩め、ねじれが無いかどうか水平確認をしてから、4カ所の組立ネジをしっかり本締めしてください。

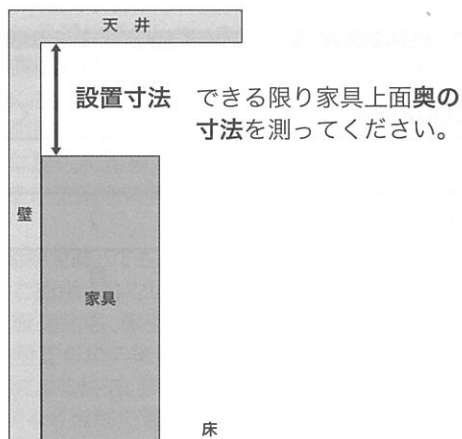


ステップ4

前もって設置場所（家具の上面から天井まで）の寸法を測ってください。

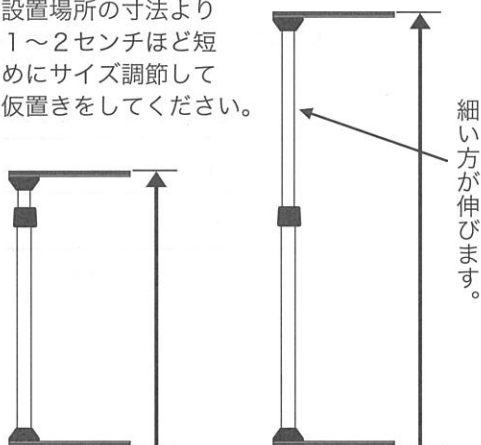
測る位置は、できる限り家具上面奥の設置場所の寸法を測ってください。

ロックレバーを左右とも開き、測った寸法より1~2センチほど短めに「キューディフェンス」のサイズを調節し、どちらか片方のロックレバーだけを閉めてください。



上下の規定はありませんが、ステーはなるべく細い方（伸びる方）を上にご覧ください。

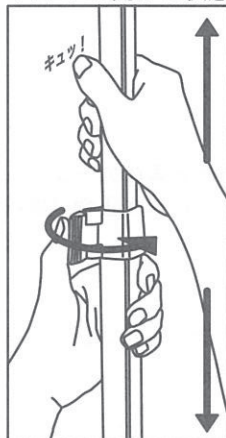
設置場所の寸法より1~2センチほど短めにサイズ調節して仮置きをしてください。



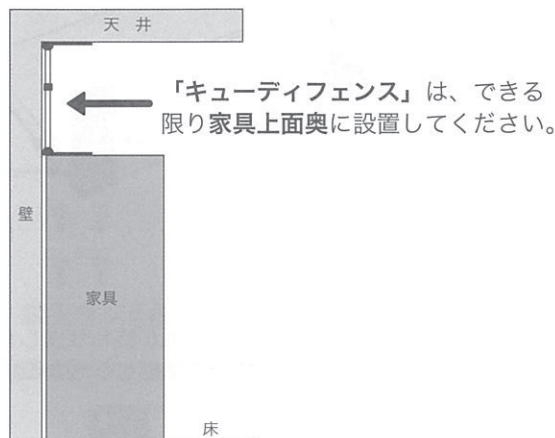
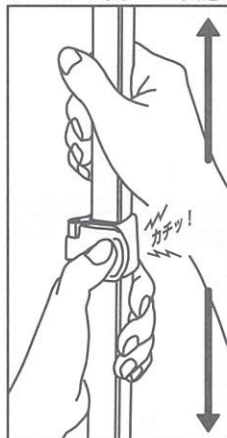
ステップ5

「キューディフェンス」の性能を発揮させるには、できるだけ家具上面奥へ設置してください。上下の規定はしていませんが、ステーはなるべく細い方（伸びる方）を上にしてください。力任せに突っ張る必要はありませんが、ネジ付近のベースクッションが少し沈む程度に圧接してください。下図の要領で、片方ずつ交互に軽く突っ張りながら圧接してください。

ロックを開けた状態



ロックを閉めた状態



ステーを片方ずつ交互に上下に軽く突っ張りながら、ロックレバーを閉めてください。



「キューディフェンス」ご使用上のご注意 ※必ずお読み下さい!

- この製品は、地震による家具の転倒を簡易的に防止する器具であり、家具を完全に固定するものではありません。
- 地震による揺れの大きさ（震度）は建物の立地条件により異なります。
また、この製品の設置条件によっては、使用者が求めている十分な性能が得られない場合があります。したがって、この製品の耐震値はあえて表示しておりませんので予めご了承ください。
- 重量のある家具や不安定な家具には、転倒防止専用の固定金具と併用されることをお勧めします。
- 大きい地震があった後は、必ずベースボードの圧接具合を確認してください。
ベースボードの圧接が弱くなっている場合は、ステップ-5の要領で圧接し直してください。
ただし、ステーが曲がっていたり、取付ネジ部が歪んでいたり、この製品の初期設置時より形状（全体または部分的に）に異常が見受けられた場合は、この製品の継続使用を直ちに止め、新しい製品をお求めください。
- 小さいお子様のおられるご家庭では、取り扱いに十分ご注意ください。
- 家具転倒防止の用途以外には絶対に使用しないでください。
- この製品やパッケージなどの廃棄については、廃棄場所の自治体が決めた処理方法に従ってください。